

説明先：向陽ヶ丘地区

開催日時：令和元年6月11日（火）19時00分～20時10分

説明会場：向陽ヶ丘住民センター

出席者：15名

Q1. 考え方は良いと思う。気になるのは、金市舘ビル跡地の候補地での津波対策だが、「高層な建物となる」というのは何階くらいになるのか？

- 建物規模や面積、どのような機能を付加させるかをこれから検討することになるが、南5条側市有地の敷地面積に、現庁舎と同等の庁舎約7,000㎡を建設する場合には、7階建て程度になる。

Q2. 候補地毎の建設費を示していただけると検討しやすいのではないかと？

- あくまでも概算の建築費だが、現段階としては、高台地区に建てても現庁舎に建てても約50億円はかかると考えており、それ以外の経費がどれだけかかるかが異なる部分である。
- 金市舘ビル跡地周辺敷地では、土地の賃貸など、現庁舎敷地では、解体費や来庁者用の仮駐車場の確保、議会機能の確保などで別途かかる経費がある。また、市営住宅潮見団地では、現市営住宅の移転建て替えが完了しなければならず、建設までに時間がかかる。また、水道管や既存道路の撤去などに別途かかる経費がある。除雪センターについても代替地の確保とセンターの建て替えが必要となり、庁舎建設以外に別途かかる経費がある。
- このようなことから、更地に建設した方が経済的であると考えている。

Q3. 夜の時間帯で津波警報などが出た場合、庁舎に人がいないとなると対応できないのでは？

- 庁舎には、夜間警備員がいるので避難することが可能。このことから、周辺住民等の一次避難場所として活用することが可能となる。
- 基本的に市職員は、警報が発令された時に庁舎に参集する。
- どの位の時間で津波が到達するかはケースによるが、10分～15分で駆け付けられると考える。
- 気象台の過去約100年の統計では、震度3以上が19回、そのうち震度4が3回という記録がある。震度4を超える地震の経験はない。
- ただし、熊本地震では宇土市庁舎が倒壊したように、災害が少ない街と言っても備えは必要であると考えている。
- 津波災害では、モヨロ貝塚発掘調査の結果、過去1300年津波が起きた形跡は確認されていないという話もあるが、津波被害も想定して一時避難所機能を備えてい

きたいと考えている。

Q4. 津波災害が起きた後の状況は、どのようになると想定しているか？交通機関はストップしているのでは？

- 国道や道道は、災害時の緊急輸送道路という指定を受けているため、優先的に緊急車両が通行できるように対応するルールとなっている。現庁舎も国道に面しているが、高台地区は国道や道道に面していない。金市館ビル跡地周辺敷地では災害時の迅速な対応が可能になる。

Q5. 新庁舎の窓口面積と現庁舎の窓口面積を比較するとどのくらいになるの？

- 窓口は本庁舎と西庁舎にあり、統一されていない。それによってご不便をかけていると認識している。基本構想の計画編の中で規模や広さなどがどれ位必要なのかわれから議論する。
- 市職員は 350 人だが、人口はこれから減少していくため、職員数も今のままとは考えていない。どの位の人数で効率的に仕事ができるのか、事務機の配置などについても工夫して、コンパクトになるよう検討していきたいと考えている。

Q6. 新庁舎の建設する場所と駐車場との間に 5 条側に市道を挟むことになるが、どのように考えているか？

- 南5条通りは用途廃止として、5条側駐車場の市有地に庁舎を建設してはどうかと考えている。ただし、道路の下には上下水道埋設管や光ケーブルが埋設されており、特に光ケーブルを掘り起こさないで建設できる方法を検討する。例えば、エントランス部分として庇を作って有効に活用できる方法を検討したい。今後、検討委員会で議論していただく。

Q7. 現庁舎の解体や費用とかはどう考えているか？建て替え後、現庁舎はどうするのか？

- あくまでも概算だが、解体費用は2億円から3億円程度はかかると考えている。
- 現段階では公用車駐車場として使用し、今後は売却等も検討しながら出来れば解体経費に充てたい。
- 警察署の建て替えや広域化の話なども今後は考えられ、そのような話があれば検討していく。

Q8. 市役所の分散している部署が、全て新庁舎に集約されるのか？

- 保健センターの機能、子育て支援の機能、療育センターの機能などが現在分散している。
- 総合体育館やエコーセンターなどの機能は、建物に付随していた方が良いと考えている。

- 機能を集約すればするほど規模が大きくなっていくと考えられ、制限のある土地であり、財政面を考慮しながら、どこまで集約できるかこれから検討が必要である。

Q9. 高層な建物（7階位）になるということだが、震災時に停電が起きたらエレベーターが停まり、階段で上がることになるのか？

- 災害時の電気の関係については、この前のブラックアウトの経験もあり、新庁舎については、非常電源装置の設置など考えるが、24時間分なのか48時間分確保するのかなどはこれからの検討となる。高度な機能を持たせることで経費も増大していくため、どこまでの機能が必要なのかを今後議論していく。

Q10. 建設費用約50億円には消費税が入っているのか？

- 消費税も考慮しているが、そこまでシビアな数字ではない。新庁舎建設に取り組んでいる道内の他市町村の金額を参考にしておおよそ算出したもの。